

## コンサルタント等契約(業務実施)(2026年2月12日)

注1) これらの案件は、予定段階のものであり、あくまでも現時点での案件概要を示したものです。今後、情勢等の変化により、案件の中止を含め、内容・実施時期等を変更する可能性があります。あらかじめご承知おきください。

注2) プレ公示に関するお問合せは、以下のリンク先をご覧ください([https://www.jica.go.jp/announce/manual/guideline/consultant/answer\\_202108.html](https://www.jica.go.jp/announce/manual/guideline/consultant/answer_202108.html))

注3) 公示日(予定)の上欄に「★」がある案件は、記載の公示日(予定)にむけ、調達準備手続きを開始した案件を指します。

注4) コンサルタント等契約の直近の制度変更についてはJICAウェブサイト「調達情報>お知らせ」を適宜ご確認ください。(<https://www.jica.go.jp/announce/information/index.html>)

注5) 価格開封会及び入札会は「電子入札システム」を通じて行います。(JICAウェブサイト電子入札ポータルサイト:<https://www.jica.go.jp/announce/notice/ebidding.html>)

注6) 2022年11月2日以降の公示、2022年12月中旬以降の新規契約締結分につき、原則、契約書への電子署名を導入します。([https://www.jica.go.jp/announce/information/20221021\\_01.html](https://www.jica.go.jp/announce/information/20221021_01.html))

	調達管理番号	25a00907000000	調達件名	アフリカ地域(広域)アフリカの健康課題解決に向けた保健投資・共創促進に係る情報収集確認調査(QCBS-ランプサム型)		
	公示日(予定)	2026年2月18日	担当部課	人間開発部保健第一グループ	業務種別	業務実施契約ー【調査業務】基礎情報収集・確認調査
	履行期間(予定)	2026年4月8日 ~ 2027年2月26日	選定方法	企画競争		
業 務 内 容	<p><b>【背景】</b> COVID19パンデミックやアフリカにおける感染症のアウトブレイクをふまえ、アフリカ地域において、健康危機対応の重要性は高まっており、ワクチン含む医薬品の域内製造や規制調和化などのイニシアティブを含め、アフリカCDCや新設されたアフリカ医薬品庁などのアフリカ地域機関の動きが活発化している。また、2025年8月に行われたTICAD9において、日本政府は、UHC推進と感染症対策・健康危機対応の2つの柱の取組を掲げると同時に、「アフリカ保健投資促進パッケージ」を立ち上げ、アフリカの保健分野エコシステムへの長期的な投資を促進することを打ち出している。</p> <p><b>【目的】</b> 本調査は、アフリカにおける健康課題の解決にむけ、①健康危機対応、医薬品(治療薬、診断薬、ワクチン等)の研究開発、域内製造強化に関する情報収集・分析および共創の促進、ならびに②日本とアフリカの民間企業による保健分野投資状況を分析し、連携推進体制を強化するとともに、本分野での今後の協力・共創可能性に関する提言を取りまとめることを目的とする。</p> <p><b>【業務内容】</b> (1) アフリカにおける健康危機対応や健康危機対応医薬品(MCM)等に関する、地域機関(アフリカ連合、アフリカCDC、アフリカ医薬品庁(AMA))および他の開発パートナー、関連ファンドの動向調査、アフリカCDCとの協働活動の試行的実施 (2) 医薬品に係るアフリカにおける研究開発・臨床試験拠点および臨床試験ネットワークに関する情報収集・分析 (3) 医薬品規制・認証、域内製造に係るアフリカ各国の状況、地域機関、開発パートナーの動向に関する調査 (4) 日本・アフリカ企業の保健医療分野投資状況・課題に係る情報収集・分析、保健投資促進策・連携推進体制の現況・課題に係る情報収集・分析、保健投資促進・連携体制構築に係る試行的活動の実施 (5) 調査をふまえた今後の協力・共創可能性に係る提言取りまとめ</p>			留 意 事 項	<p><b>【業務従事者の専門性】</b>本案件では公衆衛生・健康危機対応、官民連携・投資促進の専門性を求めます。 <b>【人月合計】</b>約13人月 <b>【その他留意事項】</b>プレ公示の内容は若干の変更の可能性があります。</p>	

## コンサルタント等契約(業務実施)(2026年2月12日)

注1) これらの案件は、予定段階のものであり、あくまでも現時点での案件概要を示したものです。今後、情勢等の変化により、案件の中止を含め、内容・実施時期等を変更する可能性があります。あらかじめご承知おきください。

注2) プレ公示に関するお問合せは、以下のリンク先をご覧ください([https://www.jica.go.jp/announce/manual/guideline/consultant/answer\\_202108.html](https://www.jica.go.jp/announce/manual/guideline/consultant/answer_202108.html))

注3) 公示日(予定)の上欄に「★」がある案件は、記載の公示日(予定)にむけ、調達準備手続きを開始した案件を指します。

注4) コンサルタント等契約の直近の制度変更についてはJICAウェブサイト「調達情報>お知らせ」を適宜ご確認下さい。(<https://www.jica.go.jp/announce/information/index.html>)

注5) 価格開封会及び入札会は「電子入札システム」を通じて行います。(JICAウェブサイト電子入札ポータルサイト:<https://www.jica.go.jp/announce/notice/ebidding.html>)

注6) 2022年11月2日以降の公示、2022年12月中旬以降の新規契約締結分につき、原則、契約書への電子署名を導入します。([https://www.jica.go.jp/announce/information/20221021\\_01.html](https://www.jica.go.jp/announce/information/20221021_01.html))

★	調達管理番号	25a00885000000	調達件名	東南アジア(広域) 東南アジアメコン河流域カスケードダム運用・操作の衛星データ活用と気候変動適応策に係る調査【R7補正予算分】(QCBS-ランプサム型)		
公示日(予定)	2026年2月18日	担当部課	地球環境部水資源グループ	業務種別	業務実施契約-【調査業務】基礎情報収集・確認調査	
履行期間(予定)	2026年4月27日 ~ 2027年3月26日		選定方法	企画競争		
業 務 内 容	<p><b>【背景】</b> メコン流域では、ダム建設・運用や気候変動影響による季節的な水位・流量の変動や洪水・渇水リスクの高まりが懸念されている。ラオス国内のカスケードダムの運用は広域的に波及し、メコン河の洪水時の最大流量、乾季の最低流量、トンレサップ湖への逆流、最下流のメコンデルタにも影響が及んでいる。一方、ダム運用・水文データは非公開とされていることが多く、科学的根拠に基づく流域調整が難しい状況となっている。本調査は、全球水循環モデルCaMa-Floodおよび衛星データの活用により、メコン河の水文現象を科学的・統合的に評価しメコン河全域における概観評価(気候変動やダム開発による下流域の洪水リスクの影響度評価、支川のカスケードダムにおける運用の最適化にかかる検討)トンレサップ湖への流況の変化と生態系影響を取り纏める。</p> <p><b>【目的】</b> メコン河流域のダム開発による水文現象の科学的評価を行い、環境社会影響に配慮したダム貯水池の運用の政策提言を検討するための基礎情報の収集を目的とする。</p> <p><b>【活動内容】</b> ①情報収集: ラオス及びカンボジアの関連政府関係機関に本調査の内容を説明し協議する。国内外にて必要なデータや情報収集を行う。国内支援委員会にて有識者の助言を得る。 ②データ収集・モデルの構築: パイロット流域で収集した現地・公開・衛星データ等を整理し、CaMa-Floodで現状の流況を再現する。 ③シナリオ解析: ダム貯水池運用シナリオや気候変動影響等の条件を比較して、水文現象への変化を分析する。具体的には①メコン流域全体でのダム開発が洪水リスクに与えている影響度の概観評価(支流が本流に与える影響度を含む)②トンレサップ湖の脈動に関して漁獲量に考慮した脈動と考慮せず無制御に放流の比較分析を想定する。 ④検討結果の整理: 上記の解析結果を取り纏め、ダム貯水池運用改善案を提案する。 ⑤提言: 調査結果をステイクホルダー協議等で発表する。</p>			留 意 事 項	<p><b>【業務従事者の専門分野】</b> 本案件では水資源管理、特にダム貯水池運用に係る専門性を求める。</p> <p><b>【調査期間】</b> 2026年4月~2027年2月(11か月)</p> <p><b>【人月合計】</b> 約17.0人月</p> <p><b>【その他留意事項】</b> プレ公示の内容は変更の可能性があります。 CaMa-Floodを用いての解析を想定する。</p>	

## コンサルタント等契約(業務実施)(2026年2月12日)

注1) これらの案件は、予定段階のものであり、あくまでも現時点での案件概要を示したものです。今後、情勢等の変化により、案件の中止を含め、内容・実施時期等を変更する可能性があります。あらかじめご承知おきください。

注2) プレ公示に関するお問合せは、以下のリンク先をご覧ください([https://www.jica.go.jp/announce/manual/guideline/consultant/answer\\_202108.html](https://www.jica.go.jp/announce/manual/guideline/consultant/answer_202108.html))

注3) 公示日(予定)の上欄に「★」がある案件は、記載の公示日(予定)にむけ、調達準備手続きを開始した案件を指します。

注4) コンサルタント等契約の直近の制度変更についてはJICAウェブサイト「調達情報>お知らせ」を適宜ご確認ください。(<https://www.jica.go.jp/announce/information/index.html>)

注5) 価格開封会及び入札会は「電子入札システム」を通じて行います。(JICAウェブサイト電子入札ポータルサイト:<https://www.jica.go.jp/announce/notice/ebidding.html>)

注6) 2022年11月2日以降の公示、2022年12月中旬以降の新規契約締結分につき、原則、契約書への電子署名を導入します。([https://www.jica.go.jp/announce/information/20221021\\_01.html](https://www.jica.go.jp/announce/information/20221021_01.html))

★	調達管理番号	25a00368000000	調達件名	インドネシア国公共建築物耐震能力向上プロジェクト		
公示日(予定)	2026年2月25日	担当部課	地球環境部防災グループ	業務種別	業務実施契約ー【事業実施・支援業務】技術協力プロジェクト	
履行期間(予定)	2026年4月22日 ~ 2029年5月22日		選定方法	企画競争		
業 務 内 容	<p><b>【背景】</b> インドネシアは、3つのプレートにまたがる地震多発国であり、2004年のスマトラ島沖地震、2018年の中部スラウェシ地震などの大地震による災害が発生している。2022年にジャワ島チアンジュールで発生した地震では、耐震規程に則らずに建てられたノンエンジニアド建物の被害は甚大で、多くの学校の主な損傷・倒壊の原因となった。当国の国家戦略として「インフラの継続的な開発」が重要な目標として組み込まれており、建築基準や建築許可制度の整備、実施体制の強化が図られており、新規の公共建築物は当該基準に基づいて建設されつつある。他方、既存の公共建築物について対応が遅れており、改修に向けた具体的な政策・計画整備、特に耐震規程に則らずに建てられたノンエンジニアド建物に関する耐震診断や耐震改修設計などの技術面にかかる人材育成が急務となっている。</p> <p><b>【目的】</b> 本事業は、インドネシア国において、公共建築物耐震化促進のための規則およびシステムが改善され、既存建築物のスクリーニング評価手法や耐震診断手法、耐震改修設計手法が確立・標準化されることにより、公共事業省、教育省の既存公共建築物耐震化促進の能力強化を図り、もってインドネシアにおいて既存公共建築物の耐震化促進に寄与するもの。</p> <p><b>【活動内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国レベル・地方自治体レベルの公共建築物耐震化戦略計画作成支援</li> <li>・パイロットエリアにおけるインベントリデータの構築支援、スクリーニング評価の実施および耐震化戦略計画の作成支援</li> <li>・パイロット建物の耐震補強工事の実施支援</li> <li>・地震被害調査文献を用いた既存建築物(EngineeredおよびNon Engineered)の構造性能評価における短期専門家業務のサポート</li> <li>・既存建築物(Non Engineered)の定量的な構造性能評価、耐震診断手法および耐震改修設計手法の確立における短期専門家業務のサポート</li> </ul>			留 意 事 項	<p><b>【業務従事者の専門分野】</b>本案件では既存建物の耐震改修に係る防災行政、既存建物の耐震事業、耐震設計に係る専門性を求める。 【人月合計】41.79人月 【その他留意事項】プレ公示の内容は若干の変更の可能性があります。 R/D署名は未了。</p>	

## コンサルタント等契約(業務実施)(2026年2月12日)

注1) これらの案件は、予定段階のものであり、あくまでも現時点での案件概要を示したものです。今後、情勢等の変化により、案件の中止を含め、内容・実施時期等を変更する可能性があります。あらかじめご承知おきください。

注2) プレ公示に関するお問合せは、以下のリンク先をご覧ください([https://www.jica.go.jp/announce/manual/guideline/consultant/answer\\_202108.html](https://www.jica.go.jp/announce/manual/guideline/consultant/answer_202108.html))

注3) 公示日(予定)の上欄に「★」がある案件は、記載の公示日(予定)にむけ、調達準備手続きを開始した案件を指します。

注4) コンサルタント等契約の直近の制度変更についてはJICAウェブサイト「調達情報>お知らせ」を適宜ご確認ください。(<https://www.jica.go.jp/announce/information/index.html>)

注5) 価格開封会及び入札会は「電子入札システム」を通じて行います。(JICAウェブサイト電子入札ポータルサイト:<https://www.jica.go.jp/announce/notice/ebidding.html>)

注6) 2022年11月2日以降の公示、2022年12月中旬以降の新規契約締結分につき、原則、契約書への電子署名を導入します。([https://www.jica.go.jp/announce/information/20221021\\_01.html](https://www.jica.go.jp/announce/information/20221021_01.html))

★	調達管理番号	25a00925000000	調達件名	カンボジア国シェムリアップ上水道マスタープラン策定プロジェクト		
公示日(予定)		2026年2月25日	担当部課	地球環境部水資源グループ	業務種別	業務実施契約ー【事業実施・支援業務】開発計画調査型技術協力(技術協力プロジェクト)
履行期間(予定)		2026年5月20日 ~ 2028年5月19日	選定方法	企画競争		
業 務 内 容	<p><b>【背景】</b>                  シェムリアップ州の州都であるシェムリアップ市とその周辺地域は、世界文化遺産であるアンコール遺跡を擁する観光産業を中心とした都市であり、観光セクターがGDPの12%を占めるカンボジアにとって重要な都市である。シェムリアップ水道公社(SRWSA)は、2023年に円借款によるトンレサップ湖を水源とする6万m<sup>3</sup>/日の浄水場の運転を開始した。しかし、ライセンスを付与されている地域に対する水道普及率は59%と低く、新しい国際空港の開港など開発も進んでいるため、水道の拡張が急務となっている。また、2030年頃には水需要が供給能力を上回ると予測されており、財務・経営の改善も必要となっている。</p> <p><b>【目的】</b>                  本事業は、シェムリアップ水道公社の給水区域において、上水道マスタープランを策定するとともに、優先プロジェクトのフィージビリティ・スタディを実施することにより、安全な飲料水へのアクセスの向上に寄与する。</p> <p><b>【業務内容】</b></p> <p>①上水道マスタープランの策定                  給水や施設の現況確認、社会調査、顧客満足度調査、SRWSAが州の水道整備に果たすべき役割の検討、水需要予測、水源(トンレサップ湖)の利用可能性の検討、戦略的環境アセスメント、マスタープランの策定(施設計画、気候変動対策計画、DX推進計画、サステナビリティ推進計画、運転維持管理計画、財務計画、事業費概算、投資計画等を含む)、優先プロジェクトの選定、等</p> <p>②人材開発計画の策定                  現状把握、標準作業手順書(SOP)のレビュー、人材の需給ギャップの分析、職員育成プログラム・人材開発計画の作成、等</p> <p>③優先プロジェクトのフィージビリティ・スタディ                  自然条件調査を含むF/Sの実施、プロジェクト実施計画策定、等</p> <p>④マスタープラン策定に係るSRWSAの能力強化                  計画策定の過程におけるOJT、カンボジア国内の他の水道公社に対するセミナーの開催、等</p>			留 意 事 項	<p><b>【業務従事者の専門性】</b> 本案件では、水道計画、施設計画、人材育成計画等の専門性を求めます。</p> <p><b>【人月合計】</b> 約50人月</p> <p><b>【国際約束(R/D)締結状況】</b> 未了</p> <p><b>【その他留意事項】</b> プレ公示の内容は若干の変更の可能性があります。</p>	

## コンサルタント等契約(業務実施)(2026年2月12日)

注1) これらの案件は、予定段階のものであり、あくまでも現時点での案件概要を示したものです。今後、情勢等の変化により、案件の中止を含め、内容・実施時期等を変更する可能性があります。あらかじめご承知おきください。

注2) プレ公示に関するお問合せは、以下のリンク先をご覧ください([https://www.jica.go.jp/announce/manual/guideline/consultant/answer\\_202108.html](https://www.jica.go.jp/announce/manual/guideline/consultant/answer_202108.html))

注3) 公示日(予定)の上欄に「★」がある案件は、記載の公示日(予定)にむけ、調達準備手続きを開始した案件を指します。

注4) コンサルタント等契約の直近の制度変更についてはJICAウェブサイト「調達情報>お知らせ」を適宜ご確認ください。(<https://www.jica.go.jp/announce/information/index.html>)

注5) 価格開封会及び入札会は「電子入札システム」を通じて行います。(JICAウェブサイト電子入札ポータルサイト:<https://www.jica.go.jp/announce/notice/ebidding.html>)

注6) 2022年11月2日以降の公示、2022年12月中旬以降の新規契約締結分につき、原則、契約書への電子署名を導入します。([https://www.jica.go.jp/announce/information/20221021\\_01.html](https://www.jica.go.jp/announce/information/20221021_01.html))

★	調達管理番号	25a00689000000	調達件名	ブータン国地すべりリスク削減能力強化プロジェクト		
公示日(予定)	2026年2月25日	担当部課	地球環境部防災グループ	業務種別	業務実施契約ー【事業実施・支援業務】技術協力プロジェクト	
履行期間(予定)	2026年5月21日 ~ 2029年5月21日		選定方法	企画競争		
業 務 内 容	<p><b>【背景】</b> ブータンは道路や電力に関するインフラが経済を下支えしているが、国土の大部分が山岳地帯であり、道路や発電・送電施設は降雨起因の地すべり災害リスクに晒されている。そのためこれらが被害を受けると経済活動にも大きな影響を及ぼす。実際に、土砂崩れ等の斜面災害によりインフラ・運輸省が管轄する幹線道路の通行止めは年間139回(2021年)発生している。このような状況下、ブータン政府は、第13次五か年計画(2024-2029)を策定し、安全保障の一環として災害リスク軽減を達成すべき成果とし、災害や緊急事態への対応・準備計画の策定を重要な「戦略/プログラム」として位置付けている。JICAは、インフラ・運輸省・陸上運輸局に対して崩壊、落石、土石流に対する対策工法の検討(切土勾配の見直しや植生工を含む)および事前の通行規制などの概念の導入を支援した。しかしながら、より大規模な被害をもたらす深層にすべり面を持つ地すべり向け対策は講じられておらず、観測、解析、計画策定、施工に係る能力向上が必要な状況である。</p> <p><b>【目的】</b> 本事業は、ブータンにおいて、地すべり対策に係る調査、観測、解析、計画策定・設計及び実施を行うことにより、インフラ運輸省・陸上運輸局の地すべりリスク削減能力の強化を図り、もって適切な地すべり対策の実施を通じた地すべりによる重要インフラへの被害の軽減に寄与することを目的とする。</p> <p><b>【活動内容(一部)】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地すべりの地形判読および評価に係る活動</li> <li>・地すべりの調査・観測・解析に係る活動</li> <li>・地すべり対策の計画策定・設計および実施に係る活動</li> </ul>			留 意 事 項	<p><b>【業務従事者の専門性】</b> 本案件では地質調査・解析、地すべり観測に係る専門性を求める。</p> <p><b>【人月合計】</b> 合計約51人月</p> <p><b>【その他】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・契約履行期間を2期に分割予定。</li> <li>・2025年11月にR/D署名予定。</li> <li>・若手育成加点の適用予定。</li> <li>・プレ公示の内容は若干の変更の可能性がある。</li> </ul>	

## コンサルタント等契約(業務実施)(2026年2月12日)

注1) これらの案件は、予定段階のものであり、あくまでも現時点での案件概要を示したものです。今後、情勢等の変化により、案件の中止を含め、内容・実施時期等を変更する可能性があります。あらかじめご承知おきください。

注2) プレ公示に関するお問合せは、以下のリンク先をご覧ください([https://www.jica.go.jp/announce/manual/guideline/consultant/answer\\_202108.html](https://www.jica.go.jp/announce/manual/guideline/consultant/answer_202108.html))

注3) 公示日(予定)の上欄に「★」がある案件は、記載の公示日(予定)にむけ、調達準備手続きを開始した案件を指します。

注4) コンサルタント等契約の直近の制度変更についてはJICAウェブサイト「調達情報>お知らせ」を適宜ご確認ください。(<https://www.jica.go.jp/announce/information/index.html>)

注5) 価格開封会及び入札会は「電子入札システム」を通じて行います。(JICAウェブサイト電子入札ポータルサイト:<https://www.jica.go.jp/announce/notice/ebidding.html>)

注6) 2022年11月2日以降の公示、2022年12月中旬以降の新規契約締結分につき、原則、契約書への電子署名を導入します。([https://www.jica.go.jp/announce/information/20221021\\_01.html](https://www.jica.go.jp/announce/information/20221021_01.html))

	調達管理番号	25a00932000000	調達件名	エジプト国統合配水システム改善		
	公示日(予定)	2026年2月25日	担当部課	経済開発部農業・農村開発第二グループ	業務種別	業務実施契約ー【事業実施・支援業務】技術協力個別案件
	履行期間(予定)	2026年4月22日 ~ 2028年4月21日	選定方法	企画競争		
業務内容	<p><b>【背景】</b> エジプトは降水量が非常に少なく、年間平均降水量は僅か20mm程度である。一方でエジプトでは、急速な人口増加や農地の拡大により、水需要が増加している。農業部門は他の部門よりもはるかに多くの水を使用しているため、公平な水配分と灌漑効率の向上が必須となる。日本は長年にわたり、バハル・ユセフ水路系の水利施設の整備に協力してきたが、現在円借款で整備が進む、バハル・ユセフ水路の最上流に当たる新ダイルート堰群が2026年4月に完工することで、一連の大規模工事は終わる。一方で、新ダイルート堰群(NDGRs)の下流域には広大な農地と長大な水路系が存在し、ハード協力に加えて、配水ネットワークの管理が重要である。エジプト側は日本による配水管理の知見を同水路系に適用すべく、技術協力の協力の要請があった。</p> <p><b>【目的】</b> NDGRsとその下流の幹線水路(特にバハル・ユセフ水路)の統合的な配水管理のため、関係者の能力向上を図る。</p> <p><b>【活動内容】</b> 活動1: NDGRs下流域の水位観測所におけるHQ曲線の作成/更新及び作成・更新方法の指導。 活動2: バハルヨセフ水路の維持管理計画の策定 活動3: バハルヨセフ水路における水配分や水管理にかかるマニュアルの作成 活動4: 日本で行われている水利施設のアセットマネジメントの概念と手法の紹介</p>			留意事項	<p><b>【業務従事者の専門性】</b> 灌漑、水資源管理、施設管理の専門性を求めます。 <b>【人月合計】</b> 10.51人月 <b>【その他留意事項】</b> プレ公示の内容は変更の可能性がある。</p>	

## コンサルタント等契約(業務実施)(2026年2月12日)

注1) これらの案件は、予定段階のものであり、あくまでも現時点での案件概要を示したものです。今後、情勢等の変化により、案件の中止を含め、内容・実施時期等を変更する可能性があります。あらかじめご承知おきください。

注2) プレ公示に関するお問合せは、以下のリンク先をご覧ください([https://www.jica.go.jp/announce/manual/guideline/consultant/answer\\_202108.html](https://www.jica.go.jp/announce/manual/guideline/consultant/answer_202108.html))

注3) 公示日(予定)の上欄に「★」がある案件は、記載の公示日(予定)にむけ、調達準備手続きを開始した案件を指します。

注4) コンサルタント等契約の直近の制度変更についてはJICAウェブサイト「調達情報>お知らせ」を適宜ご確認ください。(<https://www.jica.go.jp/announce/information/index.html>)

注5) 価格開封会及び入札会は「電子入札システム」を通じて行います。(JICAウェブサイト電子入札ポータルサイト:<https://www.jica.go.jp/announce/notice/ebidding.html>)

注6) 2022年11月2日以降の公示、2022年12月中旬以降の新規契約締結分につき、原則、契約書への電子署名を導入します。([https://www.jica.go.jp/announce/information/20221021\\_01.html](https://www.jica.go.jp/announce/information/20221021_01.html))

	調達管理番号	25a00930000000	調達件名	ナイジェリア国連邦首都区における栄養改善能力向上		
	公示日(予定)	2026年2月25日	担当部課	経済開発部農業・農村開発第二グループ	業務種別	業務実施契約ー【事業実施・支援業務】技術協力個別案件
	履行期間(予定)	2026年4月22日	～	2029年5月31日	選定方法	企画競争
業 務 内 容	<p><b>【背景】</b> ナイジェリアは、国家計画「Nigeria Agenda 2050」において栄養改善を人的資本開発の基盤として位置づけているが、約1,144万人の5歳未満児が慢性栄養不良である発育阻害の状態にあるなど、栄養課題は依然深刻である。JICAは、「連邦首都区における栄養改善能力強化プロジェクト(以下、先行事業)」において、連邦首都区におけるマルチセクターでの食を通じた栄養改善事業を実施し、食を通じた栄養改善のアプローチを開発した。その結果、農家による多様で栄養価の高い農作物の増産、乳幼児・母親・妊婦の食事の質と量の改善などの成果を上げた。また、連邦首都区政府内に多分野間の調整機能を有する食品・栄養局(FND)が新設され、FNDを通じて同アプローチを連邦首都区内でさらに拡大することが期待されているが、そのためにはFNDの体制強化が必要となっている。さらに、将来的に全国展開するためのマルチセクター栄養改善モデルを構築するために、先行事業で構築した食を通じた栄養改善アプローチの効率化が必要とされている。</p> <p><b>【目的】</b> 先行事業で開発された食を通じた栄養改善アプローチをさらに効率化し、FNDと地方行政区の運営・調整能力を強化することにより、連邦首都区(FCT)において、他地域への展開を想定したマルチセクター栄養改善モデルと教訓をとりまとめる。</p> <p><b>【活動内容】</b> FCT内において、関係機関と共に以下の活動を実施する。 ・先行事業の成果物・政策文書のレビュー、食を通じた栄養改善アプローチの効率化案及び実施方針の策定 ・地方行政区による指導者研修・普及活動の主体的実施支援、及びモデルグループを通じた住民間の学びの促進 ・FNDの計画立案・予算調整・モニタリング能力強化に係る研修・技術支援 ・事業成果と教訓の文書化及び他州展開のためのガイドラインの整備</p>			留 意 事 項	<p><b>【業務従事者の専門分野】</b> ・制度構築支援 ・栄養改善 ・農業普及</p> <p><b>【人月合計】</b> 20.11人月</p> <p><b>【その他留意事項】</b> プレ公示の内容は変更の可能性がある。</p>	

## コンサルタント等契約(業務実施)(2026年2月12日)

注1) これらの案件は、予定段階のものであり、あくまでも現時点での案件概要を示したものです。今後、情勢等の変化により、案件の中止を含め、内容・実施時期等を変更する可能性があります。あらかじめご承知おきください。

注2) プレ公示に関するお問合せは、以下のリンク先をご覧ください([https://www.jica.go.jp/announce/manual/guideline/consultant/answer\\_202108.html](https://www.jica.go.jp/announce/manual/guideline/consultant/answer_202108.html))

注3) 公示日(予定)の上欄に「★」がある案件は、記載の公示日(予定)にむけ、調達準備手続きを開始した案件を指します。

注4) コンサルタント等契約の直近の制度変更についてはJICAウェブサイト「調達情報>お知らせ」を適宜ご確認ください。(<https://www.jica.go.jp/announce/information/index.html>)

注5) 価格開封会及び入札会は「電子入札システム」を通じて行います。(JICAウェブサイト電子入札ポータルサイト:<https://www.jica.go.jp/announce/notice/ebidding.html>)

注6) 2022年11月2日以降の公示、2022年12月中旬以降の新規契約締結分につき、原則、契約書への電子署名を導入します。([https://www.jica.go.jp/announce/information/20221021\\_01.html](https://www.jica.go.jp/announce/information/20221021_01.html))

★	調達管理番号	25a00937000000	調達件名	タイ国エリア交通管制システム拡大によるバンコク都交通渋滞改善対策実施アドバイザー		
公示日(予定)		2026年3月4日	担当部課	社会基盤部運輸交通グループ	業務種別	業務実施契約ー【事業実施・支援業務】技術協力個別案件
履行期間(予定)		2026年5月11日 ~ 2028年4月28日	選定方法	企画競争		
業 務 内 容	<p><b>【背景・目的】</b>                  JICAは、バンコク都庁(Bangkok Metropolitan Administration、以下「BMA」という)およびタイ王国警察と協力し、2019年から2024年にかけて技術協力プロジェクト「タイ王国におけるモデルエリア交通管制システムの構築を通じたバンコク都渋滞改善プロジェクト」(以下、「渋滞改善プロジェクト」という)を実施した。                  渋滞改善プロジェクトでは、バンコク市内のパイロット地域において、面的交通制御(Area Traffic Control、以下「ATC」という)システムの導入を通じて交通渋滞の緩和を図ることを目的とし、現在、BMAはATCシステムのさらなる拡張を検討しており、まずは単独制御信号の導入から取り組みを開始している。渋滞改善プロジェクトを通じてBMA職員はATCに関する知識・ノウハウを習得したものの、設計・全体のシステム導入を独自に進めるには技術的な課題が残っている。また、現在JICAは現在、地球規模課題対応国際科学技術協力プログラム(SATREPS)を通じて、「気候変動緩和に貢献する新興大都市におけるデータ駆動型の動的交通マネジメントに関する研究」(以下「3Dプロジェクト」という)を支援しているが、BMA職員の参加は同プロジェクト活動には含まれていない。BMAが3Dプロジェクトの社会実験内容を理解することは、単独制御信号の実装と有効活用に資するものであるため、BMA職員の実務に資する知見・研究成果を別途提供する必要がある。                  そのため、BMAはATC拡張および関連分野に精通した専門家の支援を必要としており、「エリア交通管制システム拡大によるバンコク都交通渋滞改善対策実施アドバイザー」の派遣を要請した。</p> <p><b>【業務内容】</b>                  ①BMAのATCシステム拡張支援のための事業計画(案)策定                  ②3Dプロジェクトとの連携に向けた信号制御技術の潮流や交通工学に関する専門知識の提供</p>			留 意 事 項	<p><b>【業務従事者の専門性】</b> 本案件では交通工学の専門性を求めます。  <b>【人月合計】</b> 7.94人月  <b>【その他留意事項】</b> プレ公示の内容は若干の変更の可能性があります。</p>	



## コンサルタント等契約(業務実施)(2026年2月12日)

注1) これらの案件は、予定段階のものであり、あくまでも現時点での案件概要を示したものです。今後、情勢等の変化により、案件の中止を含め、内容・実施時期等を変更する可能性があります。あらかじめご承知おきください。

注2) プレ公示に関するお問合せは、以下のリンク先をご覧ください([https://www.jica.go.jp/announce/manual/guideline/consultant/answer\\_202108.html](https://www.jica.go.jp/announce/manual/guideline/consultant/answer_202108.html))

注3) 公示日(予定)の上欄に「★」がある案件は、記載の公示日(予定)にむけ、調達準備手続きを開始した案件を指します。

注4) コンサルタント等契約の直近の制度変更についてはJICAウェブサイト「調達情報>お知らせ」を適宜ご確認ください。(<https://www.jica.go.jp/announce/information/index.html>)

注5) 価格開封会及び入札会は「電子入札システム」を通じて行います。(JICAウェブサイト電子入札ポータルサイト:<https://www.jica.go.jp/announce/notice/ebidding.html>)

注6) 2022年11月2日以降の公示、2022年12月中旬以降の新規契約締結分につき、原則、契約書への電子署名を導入します。([https://www.jica.go.jp/announce/information/20221021\\_01.html](https://www.jica.go.jp/announce/information/20221021_01.html))

★	調達管理番号	25a00935000000	調達件名	パプアニューギニア国大洋州地域PNG国テーリングダム設計基準に係る情報収集・確認調査 (一般競争入札(総合評価落札方式)-ランプサム型)		
公示日(予定)	2026年3月4日	担当部課	社会基盤部資源・エネルギーグループ	業務種別	業務実施契約-【調査業務】基礎情報収集・確認調査	
履行期間(予定)	2026年5月1日 ~ 2026年12月1日		選定方法	一般競争入札(総合評価落札方式)		
業務内容	<p>【背景・目的】パプアニューギニア(PNG)は、天然ガス、金、銅、石油等の豊富な資源に恵まれており、銅に関しては日本の輸入の約1割を占めていることから、我が国の資源確保上、重要な国である。また今後も多くの鉱山開発が見込まれており、持続的な鉱業開発が求められている。しかしながら操業中の鉱山の多くが鉱滓の河川排出による処理を行っており、今後さらなる鉱業開発を進めるためには、環境負荷を軽減するためにも鉱滓ダムを用いた鉱滓処理の必要性が増している。</p> <p>本業務では、PNG国の環境特性に配慮した鉱滓ダムの設計基準について現在の状況の情報収集・整理を行い、今後の持続的鉱業開発に資する案件形成の可能性を検討することを目的に調査を実施するものである。</p> <p>【活動内容】PNGの鉱滓ダムの設計基準について確認を行い、国際的な基準やPNGの環境特性、地震・多雨などの防災分野をはじめとする日本の経験を踏まえ、PNG設計基準の課題の整理を行う。またモデルケースとして実際に建設予定のOk Tedi川下流の鉱滓ダムを対象に分析を行い、同過程で得られた留意点についても整理を行う。</p>			留意事項	<p>【業務従事者の専門性】本案件では水理学、ダム工学の専門性を求めます。</p> <p>【人月合計】約5人月</p> <p>【その他留意事項】プレ公示の内容は若干の変更の可能性があります。</p>	

## コンサルタント等契約(業務実施)(2026年2月12日)

注1) これらの案件は、予定段階のものであり、あくまでも現時点での案件概要を示したものです。今後、情勢等の変化により、案件の中止を含め、内容・実施時期等を変更する可能性があります。あらかじめご承知おきください。

注2) プレ公示に関するお問合せは、以下のリンク先をご覧ください([https://www.jica.go.jp/announce/manual/guideline/consultant/answer\\_202108.html](https://www.jica.go.jp/announce/manual/guideline/consultant/answer_202108.html))

注3) 公示日(予定)の上欄に「★」がある案件は、記載の公示日(予定)にむけ、調達準備手続きを開始した案件を指します。

注4) コンサルタント等契約の直近の制度変更についてはJICAウェブサイト「調達情報>お知らせ」を適宜ご確認下さい。(<https://www.jica.go.jp/announce/information/index.html>)

注5) 価格開封会及び入札会は「電子入札システム」を通じて行います。(JICAウェブサイト電子入札ポータルサイト:<https://www.jica.go.jp/announce/notice/ebidding.html>)

注6) 2022年11月2日以降の公示、2022年12月中旬以降の新規契約締結分につき、原則、契約書への電子署名を導入します。([https://www.jica.go.jp/announce/information/20221021\\_01.html](https://www.jica.go.jp/announce/information/20221021_01.html))

★	調達管理番号	25a00961000000	調達件名	ブラジル国セラード地域における劣化牧野回復及び持続的な農地転換プロジェクト推進のための情報収集・確認調査		
公示日(予定)	2026年3月4日	担当部課	経済開発部農業・農村開発第一グループ	業務種別	業務実施契約ー【調査業務】基礎情報収集・確認調査	
履行期間(予定)	2026年4月22日	～	2027年2月26日	選定方法	企画競争	
業 務 内 容	<p><b>【背景】</b> ブラジル政府は「劣化牧野を持続可能な農業生産と森林に転換するための国家プログラム(PNCPD)」に係る大統領令を発表し、持続可能な農業の促進を通じた食料増産、森林伐採の抑制及び自然植生の回復を同時に推進することを国家戦略として掲げている。右戦略を踏まえ、日伯両政府は「日・ブラジル・グリーン・パートナーシップ・イニシアティブ(GPI)」を立ち上げ、日本・ブラジル両国の民間企業、研究機関の技術を活用し、劣化牧野を回復することで、食料生産性の向上を図り、世界の食糧供給の安定化に貢献することを掲げている。</p> <p><b>【目的】</b> ブラジル国内における劣化牧野の回復および農地転換に資する本邦企業(スタートアップを含む)の技術・製品の海外展開を促進するため、所要手続きや市場等の基礎情報や、本邦企業とブラジルの民間企業、農業協同組合、農家等とのパートナーシップ強化に向けた基礎情報を収集する。また、実証事業の設計・実施を通じて、土壌改良資材、バイオスティミュラント、精密・デジタル農業技術に関する本邦企業の製品・技術の現地適合性について圃場試験を通じて可視化し、これらの成果を踏まえ、今後のJICAによる協力方針(案)を検討・提言することを目的とする。</p> <p><b>【業務内容】</b> 上記目的に基づき、以下を実施する。 (1)本邦企業技術のパートナーシップ構築や実証事業の設計のための基礎情報の収集 (2)資材適合性判定を目標とした実証事業の設計・参画スキームの構築 (3)実証事業の実施および監理 (4)事業化に向けたデータ要件の整理とエビデンス構築 (5)パートナーシップ構築のためのマッチングイベント等の運営管理 (6)今後のJICAによる協力方針(案)を検討し、提言を取りまとめる</p>			留 意 事 項	<p><b>【業務担当分野】</b> (1) 業務主任者・民間企業連携 (2) 農業開発 本調査では、日本・ブラジルの民間企業のパートナーシップ構築のための民間連携にかかる専門性、および土壌改良や栽培に関する専門性を求めます。</p> <p><b>【人月合計】</b> 約6.50人月</p> <p><b>【その他留意事項】</b> プレ公示の内容は若干の変更の可能性があります。</p>	

## コンサルタント等契約(業務実施)(2026年2月12日)

注1) これらの案件は、予定段階のものであり、あくまでも現時点での案件概要を示したものです。今後、情勢等の変化により、案件の中止を含め、内容・実施時期等を変更する可能性があります。あらかじめご承知おきください。

注2) プレ公示に関するお問合せは、以下のリンク先をご覧ください([https://www.jica.go.jp/announce/manual/guideline/consultant/answer\\_202108.html](https://www.jica.go.jp/announce/manual/guideline/consultant/answer_202108.html))

注3) 公示日(予定)の上欄に「★」がある案件は、記載の公示日(予定)にむけ、調達準備手続きを開始した案件を指します。

注4) コンサルタント等契約の直近の制度変更についてはJICAウェブサイト「調達情報>お知らせ」を適宜ご確認ください。(<https://www.jica.go.jp/announce/information/index.html>)

注5) 価格開封会及び入札会は「電子入札システム」を通じて行います。(JICAウェブサイト電子入札ポータルサイト:<https://www.jica.go.jp/announce/notice/ebidding.html>)

注6) 2022年11月2日以降の公示、2022年12月中旬以降の新規契約締結分につき、原則、契約書への電子署名を導入します。([https://www.jica.go.jp/announce/information/20221021\\_01.html](https://www.jica.go.jp/announce/information/20221021_01.html))

	調達管理番号	25a00939000000	調達件名	トルコ国欧州地域建物脆弱性迅速スクリーニングに係る能力向上プロジェクト		
	公示日(予定)	2026年3月4日	担当部課	地球環境部防災グループ	業務種別	業務実施契約ー【事業実施・支援業務】技術協力プロジェクト
	履行期間(予定)	2026年5月1日 ~ 2029年4月30日	選定方法	企画競争		
業 務 内 容	<p><b>【背景】</b> トルコは、面積約78万km<sup>2</sup>、人口約8566万人を有し、ユーラシア・アフリカ・アラビア各プレートの境界に位置する地震多発国である。1999年のマルマラ地震や2023年のトルコ南東部地震では甚大な被害が生じ、これを契機に2007年の建築物地震規制導入、2012年の都市変容法制定、2018年の耐震基準改正など、建物の耐震性向上に向けた制度整備が進められてきた。第12次国家開発計画でも都市レジリエンス強化が重視されている。しかしながら、依然として全国約2000万棟のうち約600万棟が耐震基準未達とされ、補強・再建が必要とされている。さらに、イスタンブール付近には北アナトリア断層が存在し、将来の大地震リスクが高い。イスタンブール大都市圏庁では、民間建物地震に対する脆弱性評価が行われているが、需要増加に対する対応の遅れや評価手法の適用可能建物種の限定といった課題が残されている。</p> <p><b>【目的】</b> トルコにおいて、建物脆弱性迅速スクリーニングの手法の改良／拡張及び、自治体向け施策集の策定とパイロット自治体への手法の適用を行うことにより、地震に脆弱な民間建物の耐震補強および建替えを促進するための自治体の能力向上を図り、もって脆弱な建物の耐震補強および建替えの促進に寄与することが目的である。</p> <p><b>【業務内容】</b> 成果1：建物脆弱性迅速スクリーニング手法がイスタンブール大都市圏庁により改良／拡張される。 成果2：イスタンブール大都市圏において、建物脆弱性迅速スクリーニングが適用された建物の数／月が増加する。 成果3：耐震補強および建替えを促進するための制度面／技術面の新たな施策がパイロット自治体により導入される。 成果4：耐震補強および建替えを促進するための自治体向け施策集がトルコ全土の自治体に周知される。</p>			留 意 事 項	<p><b>【業務従事者の専門性】</b> 本案件では建物耐震化、建物脆弱性評価(PERAの改良／拡張)、建物耐震化施策(施策集の取り纏め、パイロット自治体での施策の導入、UMTの研修)の専門性を求めます。 <b>【人月合計】</b> 約35人月 <b>【国際約束(R/D)締結状況(技プロの場合)】</b>未了。 <b>【その他留意事項】</b>プレ公示の内容は若干の変更の可能性があります。</p>	

## コンサルタント等契約(業務実施)(2026年2月12日)

注1) これらの案件は、予定段階のものであり、あくまでも現時点での案件概要を示したものです。今後、情勢等の変化により、案件の中止を含め、内容・実施時期等を変更する可能性があります。あらかじめご承知おきください。

注2) プレ公示に関するお問合せは、以下のリンク先をご覧ください([https://www.jica.go.jp/announce/manual/guideline/consultant/answer\\_202108.html](https://www.jica.go.jp/announce/manual/guideline/consultant/answer_202108.html))

注3) 公示日(予定)の上欄に「★」がある案件は、記載の公示日(予定)にむけ、調達準備手続きを開始した案件を指します。

注4) コンサルタント等契約の直近の制度変更についてはJICAウェブサイト「調達情報>お知らせ」を適宜ご確認ください。(<https://www.jica.go.jp/announce/information/index.html>)

注5) 価格開封会及び入札会は「電子入札システム」を通じて行います。(JICAウェブサイト電子入札ポータルサイト:<https://www.jica.go.jp/announce/notice/ebidding.html>)

注6) 2022年11月2日以降の公示、2022年12月中旬以降の新規契約締結分につき、原則、契約書への電子署名を導入します。([https://www.jica.go.jp/announce/information/20221021\\_01.html](https://www.jica.go.jp/announce/information/20221021_01.html))

	調達管理番号	25a00943000000	調達件名	コンゴ民主共和国コンゴ盆地における森林・気候変動政策支援プロジェクト		
	公示日(予定)	2026年3月4日	担当部課	地球環境部森林・自然環境保全グループ	業務種別	業務実施契約ー【事業実施・支援業務】技術協力プロジェクト
	履行期間(予定)	2026年5月22日 ~ 2028年5月19日	選定方法	企画競争		
業務内容	<p>【背景】南米アマゾンに次ぐ地球の片肺と呼ばれるコンゴ盆地の熱帯林は、近年周辺地域の急速な人口増加、農地の無秩序な開発とそれに伴うエネルギー生産により、深刻な森林減少・劣化に直面している。コンゴ盆地の約6割を占めるコンゴ民主共和国(以下、コンゴ民)では、コンゴ盆地の持続可能な管理実現に向けた同国政府の取り組みを支援するため、欧州諸国を中心とする国際イニシアティブ(中部アフリカ森林イニシアティブ)や、主要ドナーによる共同宣言に基づく資金拠出が継続している。日本政府/JICAは現在、同国環境・持続可能な開発・新気候経済省と協力して、森林・気候変動セクタープログラムを実施している。日本の森林・気候変動分野におけるこれまでの協力を踏まえ、同省が、森林・気候変動分野における重要な政策を引き続き推進できるような能力強化が期待されている。</p> <p>【目的】本事業は、コンゴ盆地における優先度の高い森林・気候変動対策を実施するための能力強化を図り、もって資金提案書に記載された同盆地における緊急度の高い森林・気候変動対策が実施されることに寄与する。</p> <p>【活動内容】</p> <p>プロジェクト目標：コンゴ盆地において優先度の高い森林・気候変動対策を実施するための関連計画が策定される。</p> <p>成果1：コンゴ民での森林・気候変動分野におけるコンセプトノートの作成を通じ、当該分野について日本の支援や成果を踏まえた優先的に取り組むべき課題が整理される。</p> <p>成果2：コンセプトノートにて明記される資金計画を踏まえて優先的に取り組むべき課題にかかる活動計画および資金提案書が提出される。</p>			留意事項	<p>【業務従事者の専門性】本案件では中部アフリカでの持続的森林管理・気候変動事業への従事経験、及びGCFやCAFI等外部資金を用いた案件形成の専門性を求めます。</p> <p>【人月合計】20.4人月</p> <p>【国際約束(R/D)締結状況】締結済</p> <p>【その他留意事項】プレ公示の内容は若干の変更の可能性があります。</p>	

## コンサルタント等契約(業務実施)(2026年2月12日)

注1) これらの案件は、予定段階のものであり、あくまでも現時点での案件概要を示したものです。今後、情勢等の変化により、案件の中止を含め、内容・実施時期等を変更する可能性があります。あらかじめご承知おきください。

注2) プレ公示に関するお問合せは、以下のリンク先をご覧ください([https://www.jica.go.jp/announce/manual/guideline/consultant/answer\\_202108.html](https://www.jica.go.jp/announce/manual/guideline/consultant/answer_202108.html))

注3) 公示日(予定)の上欄に「★」がある案件は、記載の公示日(予定)にむけ、調達準備手続きを開始した案件を指します。

注4) コンサルタント等契約の直近の制度変更についてはJICAウェブサイト「調達情報>お知らせ」を適宜ご確認ください。(<https://www.jica.go.jp/announce/information/index.html>)

注5) 価格開封会及び入札会は「電子入札システム」を通じて行います。(JICAウェブサイト電子入札ポータルサイト:<https://www.jica.go.jp/announce/notice/ebidding.html>)

注6) 2022年11月2日以降の公示、2022年12月中旬以降の新規契約締結分につき、原則、契約書への電子署名を導入します。([https://www.jica.go.jp/announce/information/20221021\\_01.html](https://www.jica.go.jp/announce/information/20221021_01.html))

★	調達管理番号	25a00791000000	調達件名	全世界(広域)2026-2029年度全世界災害発生後の復興支援のための迅速な調査業務(スタンドバイ契約)		
公示日(予定)		2026年3月4日	担当部課	地球環境部防災グループ	業務種別	業務実施契約ー【調査業務】基礎情報収集・確認調査
履行期間(予定)		2026年5月15日	～	2029年12月14日	選定方法	企画競争
業 務 内 容	<p><b>【背景】</b> JICAは、大規模災害後に日本政府が行う緊急援助の事務局を担うとともに、緊急対応後のシームレスな復旧・復興支援を行っている。大規模災害後の被災国には数多くの援助機関が入っていくが、被災国における、「より良い復興(Build Back Better)」を実現し、災害により強い国・社会づくり支援の検討のためには、災害直後から現地状況を把握しつつ被災国の政府に防災概念を打ち込み、計画策定をサポートする必要がある。このような状況下、他ドナーとの調整も含め、「より良い復興(Build Back Better)」を目指した復旧・復興支援策の検討をスムーズに進めるため、2024年から複数社との間で「災害発生後の復興支援のための迅速な調査業務」に係る基本契約を事前に締結した。これにより、基本契約を締結した企業の中から、災害発生後の簡易な選定プロセスを経て早期に調査団を被災地に派遣し、調査活動ならびに被災国政府との議論を通じ、我が国による災害リスク削減のための復興支援方針の検討を早期かつスムーズに進めることができる体制とした。</p> <p><b>【目的】</b> 今般、上記の現行基本契約の契約期間が満了することから、新たに約4年間の基本契約締結を行い、今後の災害発生に備える。なお、既存の基本契約においては、チーム派遣型と単独型を締結したが、利用実績と今後の活用可能性を踏まえ検討した結果、今次契約ではチーム派遣型のみとする。</p> <p><b>【活動】</b> (1)被災状況調査 (2)災害状況調査(ハザード等) (3)既存計画・基準等の調査(防災計画等) (4)被災国政府の動き(復旧・復興計画、体制) (5)他ドナーの支援動向・他ドナーとの協調 (6)Build Back Better(よりよい復興)実現に向けての課題抽出 (7)復興支援の検討のための情報収集 (8)復旧・復興に関する日本(日本国内及び過去の復興支援)の知見の共有</p>			留 意 事 項	<p><b>【業務従事者の専門性】</b> 本案件では、洪水災害、土砂災害、地震災害、海洋災害、火山災害のうち、発生した災害に応じ対象分野に係る専門性を求めます。</p> <p><b>【人月合計】</b> 6.75人月(1調査あたり)</p> <p><b>【その他】</b> プレ公示の内容は若干の変更の可能性があります。</p>	

## コンサルタント等契約(業務実施)(2026年2月12日)

注1) これらの案件は、予定段階のものであり、あくまでも現時点での案件概要を示したものです。今後、情勢等の変化により、案件の中止を含め、内容・実施時期等を変更する可能性があります。あらかじめご承知おきください。

注2) プレ公示に関するお問合せは、以下のリンク先をご覧ください([https://www.jica.go.jp/announce/manual/guideline/consultant/answer\\_202108.html](https://www.jica.go.jp/announce/manual/guideline/consultant/answer_202108.html))

注3) 公示日(予定)の上欄に「★」がある案件は、記載の公示日(予定)にむけ、調達準備手続きを開始した案件を指します。

注4) コンサルタント等契約の直近の制度変更についてはJICAウェブサイト「調達情報>お知らせ」を適宜ご確認ください。(<https://www.jica.go.jp/announce/information/index.html>)

注5) 価格開封会及び入札会は「電子入札システム」を通じて行います。(JICAウェブサイト電子入札ポータルサイト:<https://www.jica.go.jp/announce/notice/ebidding.html>)

注6) 2022年11月2日以降の公示、2022年12月中旬以降の新規契約締結分につき、原則、契約書への電子署名を導入します。([https://www.jica.go.jp/announce/information/20221021\\_01.html](https://www.jica.go.jp/announce/information/20221021_01.html))

	調達管理番号	25a00927000000	調達件名	エネルギートランジションモデル分析に用いるデータセットに係る情報収集・確認調査（一般競争入札（総合評価落札方式－ランプサム型））		
	公示日（予定）	2026年3月4日	担当部課	社会基盤部資源・エネルギーグループ	業務種別	業務実施契約－【調査業務】基礎情報収集・確認調査
	履行期間（予定）	2026年5月11日 ～ 2027年2月26日	選定方法	一般競争入札（総合評価落札方式）		
業務内容	<p>【背景】JICAは、各国に適したカーボンニュートラルと安価で安定的なエネルギー供給の両立を目指し、現実的かつ持続的な電源開発計画を含むエネルギートランジションのマスタープラン策定を重点支援している。併せてGX長期研修プログラムを拡充し、今後も年間20名程度の受け入れを見込んでいる。一方で各国の事情は多様で、エネルギー需給分析に用いるデータは多くが独自収集、非公開であり、C/Pや研修員が自力で整備するのは困難なため、分析に必要なデータセットの構築が不可欠である。さらに太陽光や蓄電池の普及に伴い、リチウム、コバルト、希土類などのクリティカルミネラルの偏在が経済安全保障上の課題となるため、これらを含むデータセットの整備ニーズが高い。</p> <p>【目的】TIMESモデルの活用を前提とし、エネルギー需要及び供給に係る各技術の費用や効率などの網羅的な情報を含むデータセットを構築する。また、エネルギー需給分析モデルの高付加価値化をはかるべく、クリティカルミネラルについても情報収集の上、データセット構築を試行的に行う。</p> <p>【業務内容】エネルギー需給分析に係るデータセットに係る調査、クリティカルミネラルに係るデータセットに係る調査、データセットの構築、データセットの課題、今後の改善の方針に係る分析、エネルギー需給分析モデルに係るJICA職員向けの勉強会開催、最終報告書の作成</p>			留意事項	<p>【業務従事者の専門性】本案件ではエネルギー需給分析の専門性を求めます。</p> <p>【人月合計】8.0人月、</p> <p>【その他留意事項】プレ公示の内容は若干の変更の可能性があります。</p>	

## コンサルタント等契約(業務実施)(2026年2月12日)

注1) これらの案件は、予定段階のものであり、あくまでも現時点での案件概要を示したものです。今後、情勢等の変化により、案件の中止を含め、内容・実施時期等を変更する可能性があります。あらかじめご承知おきください。

注2) プレ公示に関するお問合せは、以下のリンク先をご覧ください([https://www.jica.go.jp/announce/manual/guideline/consultant/answer\\_202108.html](https://www.jica.go.jp/announce/manual/guideline/consultant/answer_202108.html))

注3) 公示日(予定)の上欄に「★」がある案件は、記載の公示日(予定)にむけ、調達準備手続きを開始した案件を指します。

注4) コンサルタント等契約の直近の制度変更についてはJICAウェブサイト「調達情報>お知らせ」を適宜ご確認ください。(<https://www.jica.go.jp/announce/information/index.html>)

注5) 価格開封会及び入札会は「電子入札システム」を通じて行います。(JICAウェブサイト電子入札ポータルサイト:<https://www.jica.go.jp/announce/notice/ebidding.html>)

注6) 2022年11月2日以降の公示、2022年12月中旬以降の新規契約締結分につき、原則、契約書への電子署名を導入します。([https://www.jica.go.jp/announce/information/20221021\\_01.html](https://www.jica.go.jp/announce/information/20221021_01.html))

★	調達管理番号	25a00529000000	調達件名	バングラデシュ国ガス供給最適化及び排出抑制プロジェクト		
公示日(予定)	2026年3月11日	担当部課	社会基盤部資源・エネルギーグループ	業務種別	業務実施契約ー【事業実施・支援業務】円借款付帯プロジェクト	
履行期間(予定)	2026年6月8日 ~ 2029年6月6日		選定方法	企画競争		
業 務 内 容	<p><b>【背景】</b> バングラデシュは一次エネルギー源の過半を天然ガスに依存しているが、国産天然ガスはピークアウトし、ガス供給のうち約2割を輸入LNGに依存しており、供給量・熱量調整を含め高度なプロセス制御システムが必要となっている。JICAは、2020年に開始した「ガスネットワークシステムデジタル化及びガスセクター運営効率向上プロジェクト(技術協力)」にて、ガス供給網の基本的な資産管理台帳のデジタル化や組織能力強化を実施。他方、ガス供給網の高度なプロセス制御のためには、同協力により整備されたデジタルデータをシステム化し、上流(供給)から下流(需要)まで統合的に管理・運営する必要があり、ガス需給全体の最適化を考慮した計画・設計・運用を行う機関となるガス中央供給指令所(Gas National Load Dispatch Center: GNLDC)の整備が必要となっている。</p> <p><b>【目的】</b> バングラデシュにおいて、ガス供給システムのデジタル化のためのプラットフォーム構築及びGNLDC運用に向けた準備を行うことにより、ガス供給システムのデジタル化促進及び安全かつ環境負荷の小さいガス供給の実現に向けた運用体制の整備を図り、もってガス供給システムが最適化され、ガス漏出削減に寄与することを目的とする。</p> <p><b>【活動内容】</b> 成果1: ガス供給システムのデジタルプラットフォームの構築が促進される 成果2: GNLDC設立に向け必要な準備が推進される 成果3: ガス供給システムの安全管理能力が向上する 成果4: ガスセクターの低炭素化促進及びメタン漏出削減の方策が提案される</p>			留 意 事 項	<p><b>【業務従事者の専門分野】</b> 本プロジェクトでは、ガス供給システムの計画・設計、デジタル化、GIS、防食等の専門性を求めます。</p> <p><b>【人月合計】</b> 約72人月</p> <p><b>【留意事項】</b> プレ公示の内容は若干の変更の可能性があります。RDは2025年9月末に署名予定です。</p>	

## コンサルタント等契約(業務実施)(2026年2月12日)

注1) これらの案件は、予定段階のものであり、あくまでも現時点での案件概要を示したものです。今後、情勢等の変化により、案件の中止を含め、内容・実施時期等を変更する可能性があります。あらかじめご承知おきください。

注2) プレ公示に関するお問合せは、以下のリンク先をご覧ください([https://www.jica.go.jp/announce/manual/guideline/consultant/answer\\_202108.html](https://www.jica.go.jp/announce/manual/guideline/consultant/answer_202108.html))

注3) 公示日(予定)の上欄に「★」がある案件は、記載の公示日(予定)にむけ、調達準備手続きを開始した案件を指します。

注4) コンサルタント等契約の直近の制度変更についてはJICAウェブサイト「調達情報>お知らせ」を適宜ご確認下さい。(<https://www.jica.go.jp/announce/information/index.html>)

注5) 価格開封会及び入札会は「電子入札システム」を通じて行います。(JICAウェブサイト電子入札ポータルサイト: <https://www.jica.go.jp/announce/notice/ebidding.html>)

注6) 2022年11月2日以降の公示、2022年12月中旬以降の新規契約締結分につき、原則、契約書への電子署名を導入します。([https://www.jica.go.jp/announce/information/20221021\\_01.html](https://www.jica.go.jp/announce/information/20221021_01.html))

	調達管理番号	25a00938000000	調達件名	アフリカ地域(広域) アフリカ地域先進農業技術の導入を通じた共創型ビジネス展開に係る情報収集・確認調査		
	公示日(予定)	2026年3月11日	担当部課	経済開発部農業・農村開発第二グループ	業務種別	業務実施契約ー【調査業務】基礎情報収集・確認調査
	履行期間(予定)	2026年5月8日 ~ 2028年2月24日	選定方法	企画競争		
業 務 内 容	<p>【背景】 JICAは2019年に本邦企業と連携したアフリカにおける先進技術の導入を促進する取り組みとしてAFICAT(日・アフリカ農業イノベーションセンター)を開始し、これまでケニア、タンザニア、コートジボワール、ガーナ、ナイジェリアを中心にアフリカ地域で活動を展開してきた。先行調査において、情報発信、アドバイザリー、展示・実証の3つのをAFICATのコア機能として整理し、また、JICA内外との連携促進をすることを通じてAFICATの発展的な活動に取り組むこととした。</p> <p>【目的】 本調査は、先行調査を通じて整理されたAFICATの機能に基づき、国内向けの情報提供や本邦企業へのアドバイザリー、現地企業に対する本邦技術の紹介、現地での展示会の参加等の取り組みを通じ、AFICATの推進・発展にかかる道筋を検討するものである。</p> <p>【業務内容】 先行調査等の報告書や関連政策のレビュー、AFICATのコア機能にかかる活動促進(展示会参加、本邦企業のニーズ確認・情報発信、現地関係機関との合意にかかる情報提供)、JICA内外での連携促進を通じたAFICATの取り組み強化(JICA内での情報共有、JICA外の関連団体との連携、各種協議会等の概要把握・連携促進)、AFICATの発展的なシナリオ実現に向けた施策提案。</p>				留 意 事 項	<p>【業務従事者の専門性】 本案件では官民連携、農業機械の専門性を求めます。</p> <p>【人月合計】 26.37人月</p> <p>【その他留意事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プレ公示の内容は若干の変更の可能性があります。関連情報、先行調査報告書等はJICAのHPから閲覧可能です。</li> <li>・渡航先はケニア、タンザニア、コートジボワール、ガーナ、ナイジェリアの重点5か国及びその他サブサハラアフリカの1~2か国を想定。</li> </ul>



## コンサルタント等契約(業務実施)(2026年2月12日)

注1) これらの案件は、予定段階のものであり、あくまでも現時点での案件概要を示したものです。今後、情勢等の変化により、案件の中止を含め、内容・実施時期等を変更する可能性があります。あらかじめご承知おきください。

注2) プレ公示に関するお問合せは、以下のリンク先をご覧ください([https://www.jica.go.jp/announce/manual/guideline/consultant/answer\\_202108.html](https://www.jica.go.jp/announce/manual/guideline/consultant/answer_202108.html))

注3) 公示日(予定)の上欄に「★」がある案件は、記載の公示日(予定)にむけ、調達準備手続きを開始した案件を指します。

注4) コンサルタント等契約の直近の制度変更についてはJICAウェブサイト「調達情報>お知らせ」を適宜ご確認下さい。(<https://www.jica.go.jp/announce/information/index.html>)

注5) 価格開封会及び入札会は「電子入札システム」を通じて行います。(JICAウェブサイト電子入札ポータルサイト:<https://www.jica.go.jp/announce/notice/ebidding.html>)

注6) 2022年11月2日以降の公示、2022年12月中旬以降の新規契約締結分につき、原則、契約書への電子署名を導入します。([https://www.jica.go.jp/announce/information/20221021\\_01.html](https://www.jica.go.jp/announce/information/20221021_01.html))

	調達管理番号	25a00956000000	調達件名	全世界(広域)市場志向型農業振興(SHEP)各種研修にかかる情報収集・確認調査(一般競争入札(総合評価落札方式-ランプサム型))		
	公示日(予定)	2026年3月11日	担当部課	経済開発部農業・農村開発第一グループ	業務種別	業務実施契約-【調査業務】基礎情報収集・確認調査
	履行期間(予定)	2026年5月18日 ~ 2027年2月26日	選定方法	一般競争入札(総合評価落札方式)		
業務内容	<p>【背景】2006年にケニアで始まったSHEPアプローチ※は、農家の所得を倍増させる成果を挙げ、現在約60カ国で、導入、活用されている。2019年8月のTICAD7では、100万人の農家にSHEPアプローチを活用した農業普及サービスを届けること(「SHEPのふつう化」)を目的に、アフリカ地域や公的機関のみならず、他地域や、NGOや民間企業などの他アクターによるSHEPアプローチ活用を推進することが表明された。2025年4月時点で、10か国におけるIFAD案件において、SHEPアプローチが活用されている。また、これまでSHEPアプローチは主に園芸作物を対象としていたが、灌漑、畜産、稲作等の園芸以外のJICAプロジェクトにおける活用も始まっている。</p> <p>※「作ってから売り先を探す」から「売れるものを作る」への意識変革を起こし、それを農家自らが実践するための農業普及手法</p> <p>【目的】上記に記載のとおり広域展開に伴って課題別研修、国別研修を通じたSHEPアプローチ指導者の人材育成及びその質の担保が求められており、SHEP課題別研修及び国別研修におけるSHEP演習の実施及び過年度研修員のフォローアップを実施する。</p> <p>【活動内容】</p> <p>(1) SHEP課題別研修及び国別研修における演習ファシリテーション</p> <p>(2) SHEP課題別研修及び国別研修の過年度研修員のフォローアップ</p>			留意事項	<p>【業務従事者の専門分野】</p> <p>SHEPアプローチ</p> <p>【人月合計】</p> <p>5.79人月</p> <p>【関連報告書公開情報】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ JICA Net ライブラリー【農業・農村開発】SHEPアプローチ 研修 実践編(フルver.)</li> <li>・ SHEP ハンドブック</li> </ul> <p>【現地派遣期間】</p> <p>2026年6月下旬~2026年12月上旬(渡航回数5回)を予定</p> <p>【その他留意事項】</p> <p>プレ公示の内容は若干の変更の可能性があります。</p>	

## コンサルタント等契約(業務実施)(2026年2月12日)

注1) これらの案件は、予定段階のものであり、あくまでも現時点での案件概要を示したものです。今後、情勢等の変化により、案件の中止を含め、内容・実施時期等を変更する可能性があります。あらかじめご承知おきください。

注2) プレ公示に関するお問合せは、以下のリンク先をご覧ください([https://www.jica.go.jp/announce/manual/guideline/consultant/answer\\_202108.html](https://www.jica.go.jp/announce/manual/guideline/consultant/answer_202108.html))

注3) 公示日(予定)の上欄に「★」がある案件は、記載の公示日(予定)にむけ、調達準備手続きを開始した案件を指します。

注4) コンサルタント等契約の直近の制度変更についてはJICAウェブサイト「調達情報>お知らせ」を適宜ご確認ください。(<https://www.jica.go.jp/announce/information/index.html>)

注5) 価格開封会及び入札会は「電子入札システム」を通じて行います。(JICAウェブサイト電子入札ポータルサイト:<https://www.jica.go.jp/announce/notice/ebidding.html>)

注6) 2022年11月2日以降の公示、2022年12月中旬以降の新規契約締結分につき、原則、契約書への電子署名を導入します。([https://www.jica.go.jp/announce/information/20221021\\_01.html](https://www.jica.go.jp/announce/information/20221021_01.html))

	調達管理番号	25a00908000000	調達件名	レバノン国中東地域系統安定化に係る分析能力強化プロジェクト		
	公示日(予定)	2026年3月18日	担当部課	社会基盤部資源・エネルギーグループ	業務種別	業務実施契約ー【事業実施・支援業務】技術協力プロジェクト
	履行期間(予定)	2026年5月18日 ~ 2027年11月18日	選定方法	企画競争		
業 務 内 容	<p>&lt;背景&gt;レバノン電力公社(EDL)は、2019年以降、財政・通貨危機やバイルート港湾爆発による中央給電指令所損傷、人材流出といった困難に直面しており、本来の発電容量2300MW(水力を除く)に対し恒常的に1000MW超の需給ギャップを抱えている。現在、輸入燃料の減少により電力供給は1日3~4時間に制限され、民間事業者が補完しているのが実情である。2023年施行の分散型再生エネルギー法により再生可能エネルギー導入拡大が見込まれるが、系統負荷増への対応が課題であり、EDLにおける系統計画の策定能力向上及び再生エネルギー導入拡大による将来的な電力系統への影響に備えることが同国の電力政策において重要である。</p> <p>&lt;目的&gt;上記背景を踏まえて、本案件は、レバノンにおける電力系統のシミュレーション能力強化及び再生可能エネルギー接続検討に関するフレームワーク構築を行うことにより、EDLの自立的な系統計画能力及び系統管理能力向上を図り、同国における電力供給の質と安全性改善に寄与することを目的とする。</p> <p>&lt;業務内容&gt; 電力系統シミュレーションソフトウェアに基づく電力シミュレーション能力及び電力系統計画策定能力向上のための業務。 再生可能エネルギーの接続検討に関するフレームワーク構築のための業務。</p>			留 意 事 項	<p>【業務従事者の専門性】本案件では系統解析、系統計画、系統接続の専門性を求めます。 【人月合計】26人月(国内のみ) 【国際約束RD締結状況】2025年10月済 【その他留意事項】プレ公示の内容は若干の変更の可能性があります。</p> <p>本案件はレバノンを含む周辺地域の情勢や現状の渡航制限を鑑み、コンサルタント専門家による業務は、現時点においては、現地に渡航せず国内業務及び本邦研修主体により実施する。</p>	

### コンサルタント等契約(業務実施)(2026年2月12日)

注1) これらの案件は、予定段階のものであり、あくまでも現時点での案件概要を示したものです。今後、情勢等の変化により、案件の中止を含め、内容・実施時期等を変更する可能性があります。あらかじめご承知おきください。

注2) プレ公示に関するお問合せは、以下のリンク先をご覧ください([https://www.jica.go.jp/announce/manual/guideline/consultant/answer\\_202108.html](https://www.jica.go.jp/announce/manual/guideline/consultant/answer_202108.html))

注3) 公示日(予定)の上欄に「★」がある案件は、記載の公示日(予定)にむけ、調達準備手続きを開始した案件を指します。

注4) コンサルタント等契約の直近の制度変更についてはJICAウェブサイト「調達情報>お知らせ」を適宜ご確認ください。(<https://www.jica.go.jp/announce/information/index.html>)

注5) 価格開封会及び入札会は「電子入札システム」を通じて行います。(JICAウェブサイト電子入札ポータルサイト:<https://www.jica.go.jp/announce/notice/ebidding.html>)

注6) 2022年11月2日以降の公示、2022年12月中旬以降の新規契約締結分につき、原則、契約書への電子署名を導入します。([https://www.jica.go.jp/announce/information/20221021\\_01.html](https://www.jica.go.jp/announce/information/20221021_01.html))

	調達管理番号	25a00947000000	調達件名	全世界(広域)全世界障害主流化セクター別ガイダンスノート作成業務		
	公示日(予定)	2026年3月18日	担当部課	人間開発部高等教育・社会保障グループ	業務種別	業務実施契約ーその他
	履行期間(予定)	2026年5月14日 ~ 2027年6月14日	選定方法	一般競争入札(総合評価落札方式)		
業 務 内 容	<b>【業務の背景、目的】</b> JICAグローバル・アジェンダ(JGA)では、障害インクルーシブな開発を進めることの必要性や障害主流化の重要性を示している。具体的には、「障害者団体の強化等の障害に特化した取組」と「開発におけるすべての取組みにおいて障害の視点を反映し、障害者が受益者あるいは実施者として計画策定や活動実施を含む一連のプロセスへ参加することを保障する障害の主流化」からなるツイントラック・アプローチを事業の柱として展開している。2023年度に「JICA事業の障害主流化促進に係る情報収集・課題分析業務」を実施し、国際機関や他の二国間ドナーの障害主流化促進の状況等を収集した結果、JICAが案件形成過程において参照すべき資料として、各分野課題における障害主流化にかかる分析、取組みや指標の設定を促進するためのツールが必要であることが明らかになった。その結果を踏まえ、2025年度にJGAの8分野(教育、保健医療、栄養の改善、社会保障、運輸交通、都市・地域開発、防災・復興を通じた災害リスクの削減、ガバナンス)を対象に各事業の計画・実施・モニタリング段階における障害主流化のJICA内外関係者向け参考資料としてセクター別障害主流化ガイダンスノートを策定・公開した。本業務は上記以外の分野におけるガイダンスノートを作成するもの。			留 意 事 項	<b>【業務内容】</b> 本業務は、上記の背景に基づき、JICA事業における障害主流化の促進のため、事業の内外関係者が案件の形成過程からモニタリング・評価・事後監理等のすべての段階において参照すべきガイダンスノートとして、各分野課題における障害主流化にかかる分析、取組や指標の設定を促進するための資料作成をすることを目的としている。対象となる分野は以下のとおり。 対象分野：民間セクター開発、農業・村落開発、スポーツと開発、平和構築、ジェンダー平等と女性エンパワメント、デジタル化の促進、持続可能な水資源の確保と水供給、環境管理、自然環境保全、資源・エネルギー、公共財政・金融システム、気候変動(12分野)  <b>【業務従事者の専門分野】</b> 障害と開発  <b>【人月合計】</b> 15.75人月(国内業務のみ)  <b>【その他留意事項】</b> プレ公示の内容は若干の変更の可能性があります。	